

# 釧路空港を核とした 観光交流促進プログラム



平成18年4月  
釧路空港利用促進連絡会

- 目 次 -

1．観光交流促進プログラム策定の目的	．．．．． 1
2．地域の観光交流戦略	．．．．． 3
(1) ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業	．．．．． 3
(2) 北海道（釧路・根室支庁）の取組み	．．．．． 4
(3) 釧路市の観光振興施策	．．．．． 6
(4) 白糠町観光基本計画	．．．．． 7
(5) 釧路への連絡道路	．．．．． 8
3．地域の観光促進に釧路空港が果たす役割	．．．．． 10
4．釧路空港に求められる取組み（実施メニュー）	．．．．． 11
5．プログラム推進体制	．．．．． 17

# 釧路空港を核とした観光交流促進プログラム

## 1. 観光交流促進プログラム策定の目的

釧路空港は、現在国内8路線（季節運航2路線含む）が就航し、毎年90万人以上の旅客と7,000t以上の貨物を扱い、平成17年は国際チャーター便が307便就航するなど、北海道東部の拠点空港として観光とビジネスに大きな役割を果たしている。

釧路地区の発展に資するためには国内外を問わず、観光の誘致が重要な施策の一つであるが、玄関口である釧路空港の利用・活用について改善すべき点も多い。

本プログラムは、関係者が連携を取りつつ、釧路空港を核とした観光交流促進のための施策を総合的に推進することを目的として取りまとめたものである。

### 《釧路空港の沿革、整備概要》

釧路空港は、海岸から5km、市街地から北西に22kmの小高い山岳部の原野を切り開き標高90m以上の高台に建設された第2種空港である。昭和36年7月に、滑走路1,200m×30mで供用を開始して以来、航空輸送需要の増加に対応した整備を進めてきた。平成元年12月に滑走路2,300mの供用が開始され中型ジェット機が就航し、平成7年10月には霧対策として、高性能計器着陸装置（ILS CAT- a）の供用を開始してからは霧による欠航は激減した。平成8年にはターミナル地区が一新され、平成12年11月からは滑走路2,500m×45mの供用を開始し大型ジェット機も何度か飛来するなど、道東の拠点空港として重要な役割を担っている。

また、釧路空港は道東唯一の海上保安庁の航空基地が存在し、道東の太平洋側はもとより、オホーツク海側も含めた広範囲な地域で活動している。

### 概況

設置管理者 国土交通大臣

位置 N43°02'27" E144°11'35"

標高 94.8m

面積 1,601,881m<sup>2</sup> (160ha)

着陸帯 2,620m×300m (芝)

滑走路 2,500m×45m N338°57'21"E(真方位)

エプロン 72,600m<sup>2</sup>

駐車場 547台

ターミナルビル 延床面積 11,454m<sup>2</sup> 3階

無線施設 ILS (CAT- ) NDB、VOR / DME等

運用時間 08:00～21:00 (13時間)



### 沿革

昭和36年(1961年)7月：滑走路1,200m×30mの供用開始（運輸省告示第239号）

昭和48年(1973年)11月：滑走路1,800m×45mの共用開始（運輸省告示第451号）

昭和48年(1973年)12月：東亜国内航空の東京～釧路便にジェット機(DC-9)就航

昭和59年(1984年)12月：滑走路2,100mの供用開始

昭和60年(1985年)7月：全日本空輸の東京～釧路間に中型ジェット機(B767)就航

平成元年(1989年)12月：滑走路2,300m×45m、標準式進入灯900m、平行誘導路の供用開始

平成7年(1995年)10月：ILS カテゴリー aの運用開始

平成8年(1996年)7月：新旅客ターミナルビル供用開始

平成12年(2000年)11月：滑走路2,500m×45mの供用開始

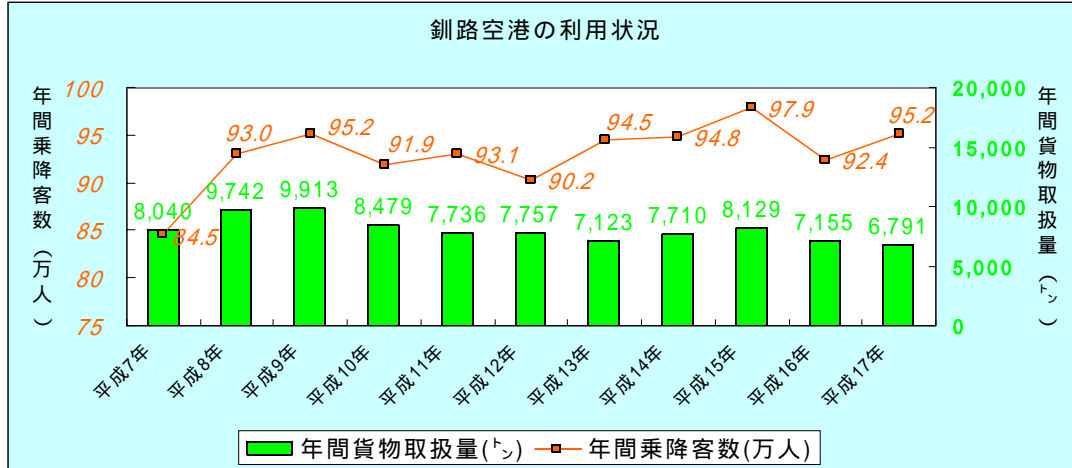
平成16年(2004年)11月：植物検疫空港に指定

平成17年(2005年)4月：動物検疫空港に指定

## 《釧路空港の利用実績》

釧路空港の輸送実績の動向は、乗降客数が90万人以上、取扱貨物が7000トン以上の横ばい状態である。また、他空港の平成15年度乗降客数は、とちぎ帯広空港が64.8万人、中標津空港が20.8万人、女満別空港が107万人であり、釧路空港が十勝・釧路・根室地方の拠点となっていることがわかる。

就航路線は、新千歳・丘珠・函館・旭川・羽田・中部・関西（季節運航）・伊丹（季節運航）の計8路線が就航している。



国際チャーター便の就航が急激に増えており、平成16年には、台湾を中心に韓国、香港などから238便、34,918人の観光客が利用している。平成17年は307便が就航し、48,236人が利用した。

## 《釧路空港の立地条件》

釧路空港は、釧路市と白糠町の境界に位置し、背後には、二つの国立公園や多数の温泉があり、背後圏人口は約30万人である。

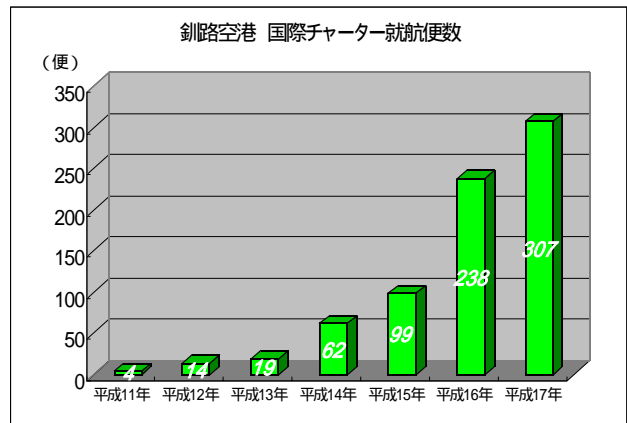
また、知床・網走方面との観光客の往来も多く道東観光の起点または終点として、本州方面や外国との玄関口としての役割を果たしている。

バス：釧路市内行きは、到着便全便に接続しており、飛行機到着後20分程で出発となる。

「JR釧路駅」前まで約45分、「フィッシャーマンズワーフM00」まで約55分

タクシー・レンタカー：釧路市街まで約21km、白糠市街まで約20km、

阿寒湖温泉街まで約60km、川湯温泉温泉街まで約90km



釧路空港から50km圏、100km圏と近隣空港



釧路空港ターミナル地区[平成17年12月6日撮影]

## 2. 地域の観光交流戦略

北海道をはじめとして、地元釧路市などの観光振興計画等の中でも、空港に関しては、下記のような施策が求められている。

- ・ 航空路線網の充実
- ・ 国際チャーター便の誘致
- ・ ユニバーサルデザインの推進
- ・ 観光案内・情報提供の充実
- ・ 外国語表記の案内板設置

### (1) ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業

<http://www.hkt.mlit.go.jp> (北海道運輸局)

#### ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業



政府では、2010年までに訪日外国人旅行者を1千万人に倍増することを目標に、平成15年度よりビジット・ジャパン・キャンペーンを実施している。北海道運輸局においても自治体や観光関連団体等とともに地方連携事業を実施し、外客誘致活動を積極的に展開している。

#### 平成17年度事業の概要

台湾の人気女優”温 翠蘋”さんを初の「Visit北海道 Queen」に任命

元「ミスユニバース台湾代表」で台湾、日本のTVなどで活躍する女優、温 翠蘋(オン・スイピン)さんを、6月2日、北海道運輸局長室において「Visit 北海道 Queen」に任命。これにより、北海道の魅力をPRし、知名度の向上を図る。



#### 北海道観光ビジネス・フォーラム2005夏 開催

VJC北海道の中心事業として、平成15年度に台湾・香港市場を対象に開催して関係者から高い評価を得た「北海道観光ビジネス・フォーラム」を平成17年度は、中国・シンガポール・タイ・アメリカ・カナダ市場の旅行エージェント等を招聘して開催。(平成17年8月26日)

釧路・阿寒・知床など道内5コースの地域視察を行った。



↑ 釧路空港での歓迎状況

#### 観光宝探し

有名観光地から、釧路市「武佐の森」等地元だけが知っている観光資源についてHP上で募集し、HPへの掲載及び人気投票等を行っている。



#### バードウォッチングの外国人客誘致

釧路・根室に生息する野鳥の種類・生息状況及び観測ポイント等を英語版リーフレットを作成し紹介する。

(武佐の森)

(写真は北海道運輸局の提供)

## (2)北海道及び釧路支庁の取組み

<http://www.kushiro.pref.hokkaido.jp/ku-srkk/kanko/index.html> (釧路支庁)

### 北海道観光の現状と課題

自然環境保全と受入環境の整備

<課題>

北海道の自然環境を保全し、「景観」「遊」「食」などの魅力を楽しめる観光地づくり  
利用しやすい交通アクセスの改善、観光案内機能の充実  
高齢者、障害者、外国人等、誰もが安心して快適に旅行できる環境・ホスピタリティの向上  
観光客の入り込みの拡大

<課題>

観光地や観光ルートの拡大と新たな観光資源の開発  
観光資源の発掘・活用を目指し、地域内の住民・行政・産業が連携した魅力ある観光地づくり  
急増する外国人客への対応

<課題>

東アジア地域を中心とした積極的な宣伝誘致活動の展開  
情報提供体制の整備 国際航空路線の拡充促進  
観光関連産業の振興

<課題>

観光関連産業をリーディング産業とするため、地域内の人材が観光に関わる事業展開  
観光関連産業と農業や水産業など他の産業との連携  
観光を軸に地域経済や地域内の資金循環の拡大を図り、地域全体での産業振興



北海道庁支庁庁舎（釧路支庁庁舎）

### 北海道観光のくにづくり行動計画

#### 計画の位置づけ

「北海道観光のくにづくり条例」に基づき、道民や観光事業者、観光関係団体が観光振興を効果的に推進していくための行動指針を定め、道の観光振興施策を示すことにより、観光を総合的、計画的に推進していくための基本的事項や目標をあきらかにした(平成14年3月に策定)。

#### 計画の期間

平成14年度から平成19年度までの6年間

#### 計画の目標

- ・誰もが満足できる質の高い観光地をつくり、国内外の多くの方に何度でも北海道を訪れていただく
- ・観光振興により本道経済の活性化を図る

#### 行動指針

- 行動指針 自然環境を生かした取組の促進
- 行動指針 食を生かした魅力アップ
- 行動指針 あたたかく迎える受入体制の整備



アウトドアスポーツ（ダッキー） 撮影：支庁

### 釧路管内取組み状況

#### 観光客の滞在時間延長を目指した観光コンテンツ開発とその発信

- ・体験観光の振興(根室支庁と共同)

釧路・根室管内は全道一の体験観光事業者の集積地であることから、体験事業者間の交流会や首都圏でのPRや観光事業者との商談会を実施している。

- ・原生花を中心とした開花情報のリアルタイム情報発信(根室支庁と共同)

<http://www.nemuro.pref.hokkaido.jp/kanko/flower/>



(体験ビジネス交流会状況)

花をテーマとした観光は、近年人気上昇していることから、湿原の花など地域の特徴ある花の魅力情報を発信するため、花カレンダーを作成し、管内の花のスポット等について、リアルタイムに近いかたちの情報提供をHP上で行う。HP「道東花紀行」開設。

#### ・産業遺産観光の商品化支援

炭鉱閉山後など、地域を支えてきた産業や設備で今は使われていない、あるいは別の使われ方をしている管内の産業遺産について、観光商品としての可能性を検討する基礎調査を実施し、それにより明らかになった管内の産業遺産について、旅行商品化に向けた検討を行う予定。



(産業遺産視察状況)

#### 一次産業と観光産業の連携強化

##### ・地元食材の観光施設での利用拡大

観光客からは各地域の特徴ある食事が求められているが、観光産業における原材料の地元調達率が低いことから、その利用拡大を目指し、産地見学会や地元商談会を行う。



(食の商談会状況)

#### 世界自然遺産「知床」関係

##### 平成17年度周知啓発事業

- ・知床の紹介や道東地域の自然を訪れる際の留意事項等掲載したリーフレットの作成
- ・札幌の旅行代理店やバス会社などに対し、道東地域を訪れる際の留意事項等を観光客に適切なアドバイスしてもらうよう協力を要請
- ・3支庁管内の親子を対象にガイド付き知床自然体験学習を実施
- ・愛知万博北海道ブースにおいて道東観光のPRを実施するとともに、名古屋で開催されたエージェント商談会で道東観光プロモーションを実施
- ・3支庁管内の空港(女満別、紋別、釧路、中標津)にウエルカムボードを設置



(リーフレット表紙)



(自然体験学習状況)



(釧路空港ウエルカムボード)

#### 平成18年度世界遺産化による観光客の変化に対する観光施策

- ・個人客や団体の小口化が予想される為、団体対応出来なかった小規模でも魅力的な観光地・観光施設等、特徴ある観光素材を発掘し、それを組み合わせPRを行う。
- ・道東地域における質の高い観光ルートの受け入れ態勢を整備するため、ホスピタリティやガイド技術の向上を目的とした研修を実施。
- ・道内外のイベントや、首都圏でのセールスを通じ、北海道の魅力を積極的にPRし、国内外からの観光客の誘致を促進する
- ・知床地域の高度な環境保全と持続的な利用を進めるため「知床遺産ブランド」を確立し、観光客の過度な利用集中による自然環境への影響が懸念されるため、NPOとの協働によるエコツーリズムの推進や環境保全の体験を目的とした環境教育を行う。

(写真は釧路支庁提供)

### (3) 釧路市の観光振興施策

<http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/kankou/> (釧路の観光行政HP)

#### 釧路の観光資源

- ・ 2つの国立公園やラムサール登録湿地に代表される「多様な自然環境」と「貴重な動植物」
- ・ 大地と海がもたらす「豊かな食の魅力」
- ・ 都市景観、地域文化、産業資源、イベント等をテーマに市民と来訪者で生み出す観光資源

#### 観光資源の開発

- ・ 既存資源の有効活用
- ・ 3地区連携をはじめ、多様な連携による魅力アップ
- ・ 潜在資源の発掘と活用化

#### 観光資源の展開

- ・ 観光素材テーマの魅力発信強化による個性化の推進
- ・ 観光施策の整理、絞込みによる重点化・集中化の推進
- ・ まちづくりや観光産業としての施策の計画的位置づけによる総合化



釧路湿原国立公園

#### 【主要重点施策】

- ・ 阿寒湖温泉再生2010計画の推進
- ・ MOO再生(都市観光拠点等)事業
- ・ 釧路の玄関口・情報サービスホスピタリティ事業
- ・ 観光振興ビジョン策定
- ・ 情報発信提供事業
- ・ 体験型修学型観光誘致事業
- ・ 滞在休養観光開発(リーディングモデル、ラムサール観光、森林浴等)
- ・ ホスピタリティ事業強化
- ・ 幣舞橋観光ガイドステーション新設
- ・ 観光誘致開発広域連携事業
- ・ SLを軸とした冬季観光強化事業
- ・ グルメ施策の強化(「大漁どんぱく」支援、「食のブランド化」事業との連携)
- ・ 観光振興イベント推進事業
- ・ コンベンション誘致推進事業
- ・ 観光施設整備改修(展望台リニューアル、交流センター等)



冬のSL湿原号



キナシベツ湿原



阿寒湖のマリモ



タンチョウと雌阿寒岳



大漁どんぱく花火大会



#### (4) 白糠町観光基本計画

<http://www.hokkai.or.jp/siranuka/> (白糠町HP)

##### 観光の位置付け

- ・あくまでも地場産業振興の延長上にあるという観光の位置付け
- ・見る観光から、体験型、学習型観光への旅行ニーズを踏まえる
- ・観光名所のないマチだからこそその観光振興

##### 地場産業の活用

- ・一次産業を中心とする地場産業との連携強化
- ・地域特有の資源の発掘と高付加価値化
- ・食の魅力を生かした取組みの促進

##### 人が中心

- ・交流人口の創出
- ・ホスピタリティの向上
- ・民主体による取組みの推進

##### 個別事業

- ・食の魅力あふれるイベントの開催
- ・白糠オーナー制度の組成
- ・新アンテナショップの設置
- ・しらぬかPR看板の整備
- ・「庶路ダム湖」関連事業及び周辺の景観向上事業
- ・「恋問館」の整備と新たな活用
- ・遊漁、サケの川釣り事業の新展開
- ・キャンプ場の再整備
- ・町内3大イベントの充実
- ・アウトドアガイドの育成
- ・滞在型プログラムの検討



茶路めん羊牧場



鍛高譚に使用しているしそ畑



酪恵舎のチーズ



ししゃも



庶路ダム



道の駅「白糠恋問」



遊漁船



さけの川釣り



パークゴルフ イン チャロ

(5) 釧路への連絡道路 <http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/> (釧路開発建設部道路1課提供資料)

**釧路地域への連絡道路**

釧路地域へのアクセス路としては、十勝方面からのアクセス路として、白糠経由の38号及び阿寒方面経由(国道241号)の国道240号、根室方面と結ぶ国道44号及び網走方面と結ぶ国道391号がある。また、道央との幹線として北海道横断自動車道の建設が進められており、現在開業中の本別ICから釧路迄の道東道(釧路道)についても建設が進められている。



(釧路周辺道路位置図)

**主要地方道 釧路空港線**

**事業の目的**

主要地方道釧路空港線は、釧路空港と国道240号を結び、釧路市街へのアクセス道路の為の主要な幹線道路となっている。当該区間は急カーブ、急勾配箇所が連続するため、特に冬期において安全な交通に支障をきたしていることから、その解消により、釧路空港と釧路市街とのアクセス強化を図る。

**事業概要**

国道240号線から釧路空港までの延長2.9kmについて道路勾配の緩和や隘路区間の解消を図る。(平成16年度完成)



完成予想図



概略図



**期待される効果**

空港とのアクセス強化

道東の観光拠点である釧路空港のターミナルの拡張整備との整合を図りつつ本路線の整備を行うことにより空港とのアクセス強化を図る。

災害時などの交通ルートの確保

緊急輸送道路でもある本路線の事業を実施することにより、災害時における輸送ルートを確保し、災害に強いまちづくりを支援する。

**都市景観形成推進地区に指定**

(新) 釧路空港線及び国道240号沿道について、「釧路市都市景観上要綱」に基づき、平成16年3月に都市景観形成推進地区に指定。



新釧路空港線開通式状況(H16.11.11)

## 北海道横断自動車道（道東道）

### 事業の目的

道東自動車道は、道東と道央を安全に、早く結び事を目的建設が進められており、道東の農水産物の安定的な輸送にも寄与する。また、災害発生時の、国道が通行止めとなった場合の避難や緊急物資輸送路の確保も目的となっている。

### 事業概要

道東自動車道（道東道）は、千歳市から釧路市まで伸びる延長約260kmの高速道路であり、これまで、「千歳恵庭～夕張間」と「十勝清水～本別・足寄間」の合計125km が開通している。

残りの「夕張～十勝清水間」と「本別～釧路間」については、現在、早期開通を目指して事業をすすめている。



本別JCT（上空）

### 期待される効果

#### 走行時間の短縮

現在、自動車札幌に行くには、およそ6時間半もかかっているが、将来、道東道がすべて開通すれば、今よりも約2時間も短縮され、札幌まで約4時間40分で行くことができるようになる。

また、高速道路はカーブや勾配が穏やかな事から、安全性も優れている。



#### 災害時などの交通ルートの確保

道東地域は、地震や台風などの自然災害が多く発生する地域で、時には、道路などが通行止めになり、物資の輸送が困難になるなど、私たちの暮らしにも大きな影響を与えてきた。将来、道東道が整備されれば、万が一国道が通行止めになっても安全な避難ルートとしての利用や、緊急物資の素早い輸送が可能となり、安心して生活することができるようになる。



国道38号通行止め時の主な迂回ルート



平成15年十勝沖地震による被害状況(一般国道38号/音別町)

### 3 . 地域の観光促進に釧路空港が果たす役割（案）

---

地域の観光戦略を支援し、観光交流を促進させるため、釧路空港に求められる役割及び、関係者において実施すべき事項は下記のとおり。

---

#### (1) 空港における航空サービスの向上

---

定時運航の確保  
小型機利用者の歩行環境改善

---

#### (2) 空港アクセスの充実

---

交通アクセスの充実  
市内及び空港での案内の充実

---

#### (3) 情報化の有効活用

---

運航情報・観光情報の有効活用  
観光情報の提供  
地元メディアの活用

---

#### (4) ユニバーサルデザイン

---

バリアフリーの促進  
外国語表示等の充実

---

#### (5) 空港を核とした地域づくり

---

国際チャーター便の誘致  
国内定期便の利用促進  
空港の利用促進に関する市民参加

---

#### (6) 空港における将来の取り組み目標

---

国際チャーター便への対応  
運航時間の弾力化  
国内路線のネットワーク強化

## 4 . 釧路空港に求められる取り組み（実施メニュー）

本表においては、施策及び課題として整理された各テーマごとに、考えられる施策事例の案等をメニュー案として整理しています（一部、既に実施中のものも含んでいます）。

今後、空港関係者がここに整理された事例の案等を参考に、連携して航空サービスの質の向上施策に取組み、釧路空港を地域の活性化や国際交流の促進の核として活用し、観光交流促進に寄与していくことが重要な課題です。

### (1) 空港における航空サービスの向上

#### 定時運航の確保

取り組み内容・目標	・ 除雪時間の短縮 ・ 融雪対策の方式検討（I <sup>7</sup> R <sup>7</sup> への融雪溝設置等）
取り組みが求められる理由	冬期除雪による遅延・欠航の軽減、道内便就航率の向上が求められている。
実施スケジュール	平成19年～
予想される効果	定時性の確保及び利便性の向上と、それに伴う利用客の増加。
取り組み主体	（主務機関）東京航空局・北海道開発局 （関係機関）航空会社

#### 小型機利用者の歩行環境改善

取り組み内容・目標予想される	・ 降雨、降雪時における小型機利用者の移動環境の改善
取り組みが求められる理由	道内便小型機の利用者は、ターミナルとの間を徒歩での移動となるため、冬期並びに荒天時には移動に支障が生じていることから、その環境改善が求められている。
実施スケジュール	平成19年～
予想される効果	定時性の確保と利用者利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	（主務機関）東京航空局・北海道開発局 （関係機関）空港ビル・航空会社

## (2)空港アクセスの充実

### 交通アクセスの充実

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港利用者のニーズ等調査の実施</li> <li>・利用者のニーズを踏まえた交通アクセスの充実</li> <li>・駐車場の拡充</li> <li>・空港、駅（バスターミナル）、観光地間の交通ネットワークの検討</li> </ul>
取り組みが求められる理由	<p>空港へのアクセスの利便性向上が求められる。</p> <p>また、ツアー以外で訪れた方々の、空港から近隣観光地へ向かう場合の利便性向上が求められる。</p>
実施スケジュール	平成18年～
予想される効果	利便性向上による利用客の増加
取り組み主体	<p>（主務機関）北海道運輸局釧路支局・東京航空局・空整協 ・北海道開発局</p> <p>（関係機関）空港ビル・釧路観光連盟・釧路市</p>

### 市内及び空港での案内の充実

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内要所での空港位置周知（案内板設置等）</li> <li>・空港ビル及び周辺での主要観光施設案内の充実</li> </ul>
取り組みが求められる理由	<p>釧路周辺を訪れた観光客で、空港の存在を知らない人もいるとの意見もあることから、市内観光施設等に空港位置等を表示し、空港の存在を周知する。</p> <p>また、空港近隣の観光地（施設）を周知する事により、周辺観光の促進につなげる。</p>
実施スケジュール	平成18年～
予想される効果	<p>阿寒等釧路市及び周辺観光地利用客の釧路空港利用による利用客の増加</p> <p>周辺観光振興による観光客の増加</p>
取り組み主体	<p>（主務機関）釧路市・白糠町・釧路観光連盟</p> <p>（関係機関）空港ビル・空整協・釧路観光協会・東京航空局・北海道開発局</p>

### (3) 情報化の有効活用

#### 運航情報・観光情報の有効活用

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等による航空機運航状況等、情報提供の一元化</li> <li>・インターネットによる周辺観光情報の提供</li> </ul>
取り組みが求められる理由	<p>携帯やパソコンおよび情報端末等で、遅延・欠航・アクセス等の状況をリアルタイムで提供することで、利用者の利便性を向上させることが求められている。また、観光情報も合わせて提供する事により、地域のPR及び観光需要の増進につながる。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	最新情報の提供による利用者の利便性向上及び地域のPRによる観光需要の増進
取り組み主体	<p>(主務機関) 空港ビル  (関係機関) 航空会社、釧路観光連盟</p>

#### 観光情報の提供

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい観光案内所の整備</li> <li>・観光案内所での主要観光情報の提供、空港周辺スポットの紹介、交通情報等の紹介</li> </ul>
取り組みが求められる理由	<p>観光案内所の場所が個人及び外国人利用者にもわかりやすいように、位置または案内看板の工夫が求められる。  個人及び外国人利用者の利便性向上のため、空港周辺の観光地及び移動に必要な時間等の情報提供の一元化が求められる。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	最新情報の提供等による利用者の利便性向上
取り組み主体	<p>(主務機関) 空港ビル・釧路観光連盟  (関係機関) 釧路市商工会議所・北海道運輸局・地方自治体</p>

#### 地元メディアの活用

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元情報誌への運航状況、空港情報の提供</li> <li>・地元マスコミ(地域FM等)への空港情報の提供</li> </ul>
取り組みが求められる理由	<p>空港施設、路線の運行状況、イベント情報等の地元メディアへ提供等地域住民への空港PRが求められる。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	<p>地域住民との一体感の向上による、空路及び空港の地元利用者の増が期待される。</p>
取り組み主体	<p>(主務機関) 空港ビル・地方自治体  (関係機関) 航空会社・北海道開発局・東京航空局</p>

## (4)ユニバーサルデザイン

### バリアフリーの促進

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩道及び駐車場内へのルーフ設置</li><li>・ターミナル施設のバリアフリー化を促進</li></ul>
取り組みが求められる理由	身障者、高齢者を含む全ての利用者が利用しやすい施設とするため、各施設のバリアフリー化およびサポート施設の充実を図ることが求められている。
実施スケジュール	H18～
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・北海道開発局・空整協・東京航空局

### 外国語表示の充実

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・空港ビル内案内標識の外国語表記の充実</li><li>・観光パンフレット等の外国語表記の充実</li></ul>
取り組みが求められる理由	国際チャーター便が増える中、外国人旅行者の利便性およびホスピタリティー向上のため、空港ビル内の各施設案内表示の外国語表示をさらに充実させることが求められている。 また、管内観光地、観光施設及び冬の情報等外国語での紹介が求められている。
実施スケジュール	随時
予想される効果	外国人利用者の利便性の向上による国際チャーター便の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・釧路観光連盟・釧路市・北海道 (関係機関) 北海道運輸局・東京航空局・北海道開発局



## (5) 空港を核とした地域づくり

### 国際チャーター便の誘致

取り組み内容・目標	・釧路空港国際化推進協議会によるプロモーション活動
取り組みが求められる理由	近年増加している東アジア方面への、知床自然遺産やラムサール登録湿原の紹介等、プロモーション活動による根釧地域へのツアー客の誘致が求められる。
実施スケジュール	随時
予想される効果	新たな外国からの観光客増により利用者の増加
取り組み主体	(主務機関) 釧路市、釧路支庁、北海道運輸局 (関係機関) 観光連盟 (釧路空港国際化推進協議会)

### 国内定期便の利用促進

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアポートセールスの実施</li> <li>・ビジネス交流の推進</li> <li>・地元修学旅行での利用及び修学旅行の誘致</li> <li>・道東3空港連携による企画・モニターツアーの実施</li> <li>・空港周辺スポットツアーの実施</li> </ul>
取り組みが求められる理由	国内利用者の利便性向上のため、既存空路の通年化や新たな航路の開設が求められる。
実施スケジュール	随時
予想される効果	増便によるビジネス利用者の増加及び、観光客の増加が図られる。
取り組み主体	(主務機関) 釧路支庁・釧路市・商工会議所・北海道運輸局 ・観光連盟

### 空港の利用促進に関する市民参加

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナルを利用したアトラクション・イベントの実施</li> <li>・観光客もてなしヘルパー制度の導入</li> <li>・航空機見学スポットの設置</li> <li>・一般市民を対象とした”釧路空港友の会”等の設置</li> <li>・空港絵画または写真コンクールの実施</li> <li>・空港サブネームの検討</li> </ul>
取り組みが求められる理由	地域住民の空港利用の促進を図り、空港周辺の景観を市民と連携して創出するため、地域に密着した取り組みが求められる。
実施スケジュール	随時
予想される効果	利用者へ好印象を与え、利用者の増を図る 周辺住民との一体感が向上する事により地元利用者の増を図る
取り組み主体	(主務機関) 地方自治体・空港ビル・航空会社 (関係機関) 東京航空局・北海道開発局・北海道運輸局

## (6)空港における将来の取り組み目標

前述の取り組み等により釧路空港の利用が促進された場合の取り組み目標

### 国際チャーター便への対応

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C I Q体制の充実</li> <li>・ 大型機就航に必要な機材等の整備と大型機の誘致</li> </ul>
取り組みが求められる理由	利用客増加に対応したC I Q体制の充実及び大型機誘致等のための検討が求められる。
予想される効果	国際チャーター便の増による来日観光客の増加
取り組み主体	(主務機関) 航空会社・空港ビル・函館税関・札幌入国管理局 ・小樽検疫所 (関係機関) 北海道運輸局・東京航空局・北海道開発局

### 国内路線のネットワーク強化

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節運航路線の通年化及び新規路線の誘致等</li> <li>・ 多客期における機材の大型化による対応</li> </ul>
取り組みが求められる理由	利用客のニーズに合わせ、国内路線の通年化および新規路線の拡大、多客期の需要に合わせた対応を図り、国内ネットワークを充実させ、利便性の向上を図ることが求められる。
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 航空会社 (関係機関) 北海道・地方自治体・釧路商工会議所

### 運航時間の弾力化

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運用時間の延長</li> <li>・ 空港アクセス機関の対応</li> </ul>
取り組みが求められる理由	利用客のニーズに合わせ、利便性の高い運航ダイヤに改善するため、運用時間の延長等について検討する。
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 東京航空局・航空会社・空港ビル (関係機関) 観光連盟

## 5 . プログラム推進体制（案）

航空サービスは、単なる輸送手段としてのみならず、都市の再生、地域間交流の拡大、地域の振興にとって極めて重要な手段としての機能を有し、経済社会の活性化・国際競争力の向上のための基盤としての役割を果たしている。

さらに、わが国では2010年までに訪日外国人を1000万人にすることを目標に、観光立国実現のための様々な取組みが行われており、航空輸送に対しても重要な役割を担うことが期待されている。

今後、釧路空港の関係者が、本プログラムで整理された諸施策を一丸となって積極的に推進し、釧路空港の利用促進をさらに図り航空需要を喚起し、観光交流促進を図っていくことが重要であると考えられる。

### (1)本プログラムの推進にあたって

本プログラムを推進するため、釧路空港利用促進連絡会が中心となり、関係団体と連携して事業の推進を図る。

### (2)関係団体への協力要請

本プログラムを推進するため、釧路空港利用促進連絡会以外の関連する団体等に対し、積極的に協力を要請する。

### (3)本プログラム推進に向けた取り組み

本プログラムの推進に対し、一般市民等の理解と協力を得るため、釧路空港利用促進連絡会主催のイベントや、シンポジウムの開催及びアンケート調査等を実施する。

### (4)本プログラムのフォローアップ

本プログラムの推進状況については、毎年釧路空港利用促進連絡会において、その実施状況を評価し、必要に応じ内容の見直しを行い、地域の観光交流を着実に促進させる。

### (5)プログラムの実施機関（釧路空港利用促進連絡会）

#### 【国の機関】

- ・北海道運輸局釧路運輸支局
- ・北海道開発局釧路開発建設部
- ・東京航空局釧路空港事務所
- ・函館税関釧路税関支署
- ・札幌入国管理局釧路港出張所
- ・小樽検疫所釧路出張所
- ・横浜植物防疫所札幌支所釧路出張所
- ・動物検疫所北海道出張所

#### 【地方自治体】

- ・北海道釧路支庁
- ・釧路市
- ・白糠町

#### 【経済団体】

- ・釧路商工会議所
- ・北海道商工会連合会釧路支所
- ・釧路観光連盟

#### 【関係事業者】

- ・釧路空港ビル(株)
- ・(財)空港環境整備協会釧路事務所
- ・全日本空輸(株)
- ・三ツ輪運輸(株)
- ・(株)日本空港ジャパン
- ・日本通運(株)